

## 学校関係者評価報告書

はくほう会医療専門学校赤穂校学校関係者評価委員会は、「令和2年度自己点検・自己評価報告書」の結果に基づいて学校関係者評価を実施いたしましたので以下のとおり報告いたします。

1. 開催日時 令和3年5月14日（金）15：30～（オンラインにて開催）

2. 学校関係者評価委員

学外委員

所 属	役 職	区 分
はくほう会医療専門学校明石校	副校長	教育に関する有識者
デイサービスセンターいきしま	施設長	専門分野委員
はくほう会デイサービスセンター	施設長	卒業生

本校出席者

氏 名	役 職・所 属 等
古城 資久	学校長
藤村 忠史	理学療法学科 学科長
亀山 一義	作業療法学科 学科長

3. 学校関係者委員による評価及び意見

① 教育理念・教育目的

教育理念及び教育目標、卒業時点で到達すべき資質等は適切に設定できている。学生便覧へ掲載されており、学習の指針となっている。教育内容については履修が必要な科目を学生便覧に掲載することで学生へ周知できている。また、実習指導者会議において意見交換を行っており、現在実施している周知の方策を継続し、理解を促していく。

② 教育目標

教育目標は、教育理念・教育目的と一貫しており、教育活動の到達目標を明記し、日々の指導に生かされている。

③ 教育課程経営

教育課程経営は引き続き自己評価も良く、目標から教育活動・実習での学びの保障は一貫性がある。国家資格の合格率も高い水準で推移しており教育内容も充実していることがうかがえる。

#### ④ 教授・学習・評価過程

講師とその講師の受け持つ授業に関して学生に15項目5段階評価のアンケートを行っており、講師や授業運営の管理が徹底されている。

#### ⑤ 経営・管理過程

組織体制や財政基盤については概ね問題ない。設備については開校より15年経過したことによる摩耗や型落ち等の問題があるため、今後入れ替え等の検討が必要である。

#### ⑥ 入学

新型コロナウイルスの影響で高校訪問やガイダンスが十分に行えなかったこともあり、今年度入学者も定員数に対し大幅に不足している。オンラインオープンキャンパス、個別相談を開催し、今後は高校訪問等を強化し入学者の確保に繋げたい。

#### ⑦ 卒業・就職・進学

卒業時に就職状況の把握に努めているが、追跡調査等を実施しておらず、その体制も整っていないため、統計的処理も含めて今後検討が必要である。それ以外は概ね問題ない。

#### ⑧ 地域社会・国際交流

今年度は新型コロナの影響で実施できなかったが、地域のニーズを把握した健康教室や公開講座の開催、ボランティア活動は高く評価できるため、今後も継続を期待したい。国際交流については、国際的視野を広げるための啓発活動等、今後の課題である。

#### ⑨ 研究

研究活動を保障する環境や体制はありと評価できる。

#### その他

特記事項なし。

#### 総合評価

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策をあらゆる場面で講じなければならぬ1年であった。臨床実習の学内実習への変更等、新しい試みに挑戦している学校の姿勢が感じられ次年度以降も期待したいところである。引き続き対策し、よい教育を在校生や地域社会に提供できるよう尽力いただきたい。